

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
予防及び回復促進1							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
鍼灸学科・夜間部	3年	1期	福永 恭子				
分野区分	教育課程		講義形式	単位	コマ数		
専門分野	総合領域		座学	1	10		
科目概要							
<p>リハビリテーション医療ではさまざまな職種が協力して患者の障害を回復へ導き、社会・環境への適応を促進するのを目指す。多職種により提供される専門技術は、逆に健康増進や疾病予防、さらにスポーツや宇宙医学にも活用されている。予防及び回復の促進では主にPT、OT、STが担当する専門技術について、概要を学ぶと同時に補装具や車椅子、義肢などについても基本的な構造や利用法などへ知識を広げ、チームアプローチの現場に立った場合に必要とされる教養と臨床実践家として必要な知識を身に付ける。</p>							
目標							
一般目標(GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標		鍼灸師として臨床上必要なリハビリテーションの知識を身に付けるために、治療プログラム、禁忌事項の知識など、リハビリテーションを医学的側面から習得する。					
到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)		リハビリテーション医学、リハビリテーションの評価、理学療法、作業療法、言語聴覚療法、補装具装具療法、脳卒中のリハビリテーションについて聞かれたときに 4つの選択肢からより適切なものを選ぶようにする。					
履修に必要な予備知識や技能							
教科書・参考書							
受講上の注意							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)							0
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回							
第2回							
第3回							
第4回							
第5回							
第6回							
第7回							
第8回							
第9回							
第10回							
実務経験と本講義との関連について							
メールアドレス							
fukunaga-t@nihonisen.ac.jp							